

第7回

「西廻り」航路フォーラム開催

北前船から見た地域史像Ⅱ

開催 9月30日(土)～10月1日(日)
会場 河野総合事務所3階ホール

西廻り航路は、日本海史の中で大阪へ荷を運ぶ海上ルートとして栄え、そこで活躍したのが北前船です。旧河野村では、北前船の歴史むらづくりとして、平成3年から「西廻り」航路フォーラムを開催してきました。今回は南越前町になって初めての開催になります。興味のある方はぜひ、ご参加ください。

9月30日(土)

10月1日(日)

◆◆◆◆◆ 第1部 ◆◆◆◆◆

13時30分 報告1

中世敦賀津と今庄関所

外岡慎一郎氏(敦賀短期大学教授)

14時30分 報告2

但馬の廻船・但馬にみる諸国の廻船

安本恭二氏(日本海史学会会員)

15時30分 報告3

北前船と長州藩

高岡 勲氏

(山口県立宇部中央高等学校教諭)

16時30分 質疑
17時30分 懇親会

◆◆◆◆◆ 第2部 ◆◆◆◆◆

9時 報告4

近世瀬戸内の航路と交易

佐竹 昭氏(広島大学教授)

10時 講演1

木谷藤右衛門家と三国与兵衛家

―北陸の海商と大名貸し―

長山 直治氏(元金沢市史専門委員)

11時 総括

青木美智男氏(専修大学教授)

11時50分 昼食

◆◆◆◆◆ 第3部 ◆◆◆◆◆

12時40分 シンポジウム

司会 青木美智男氏

パネリスト 外岡慎一郎氏/安本 恭二氏/高岡 勲氏

佐竹 昭氏/長山 直治氏

町民の皆さんの参加費は無料です。

ただし、懇親会に参加される方は3,000円、2日目の昼食を希望される方は1,000円が必要ですよ。

■ 問合せ先

南越前町教育委員会 河野事務所 ☎48・7711

南越前町立河野図書館 北前船海事資料室内

「河野北前船研究会」係 ☎48・2081

北前船ひとくちメモ

幕末から明治にかけて、蝦夷地(北海道)と上方(大阪)を結ぶ廻船がありました。その名も「北前船」。日本海諸港を巡り、各港で商売をしながら、品物だけでなく文化や技術の交流を促がしました。

廻船業者たちは、各寄港の商品を売り、そのお金で各地の商品を仕入れて持ち帰ったり、途中で売払ったりしました。上方から蝦夷の地に向かう際に積み込んだ「下り荷」は、



生活必需品が中心。砂糖、塩、醤油、味噌、茶、酒、菓子などの飲食品をはじめ、衣料品、医薬品、タバコ、鉄、米などを買い入れ、蝦夷の各港へ陸揚げしていました。一方、「上がり荷」は、ニシン、数の子、昆布、棒鱈が主で、中でもニシンは食用のほか、農業肥料として用いられたため大きな利益を上げました。こうして、日本海を舞台に物流産業は栄えていったのです。